

平成24年度「宇北高等学校評価アンケート」まとめ

1 調査の概要

学校評価の一環として、本校を保護者、生徒、教職員はどうとらえているかを調査した。本年度の重点目標に対する3項目を含め、可能な限り共通の質問を用い、三者の意識の違いを比較した。また昨年の結果との比較も行った。

回答については A:大いにそう思う、B:そう思う、C:あまり思わない、D:全く思わない、の4つの選択肢を用い、保護者対象のものだけ E:わからない、を加えた。

	生徒	保護者	教職員
回答者数	890	793	64
回答率	97.1%	86.5%	100.0%
調査日	H24年11月	H24年11月	H24年11月

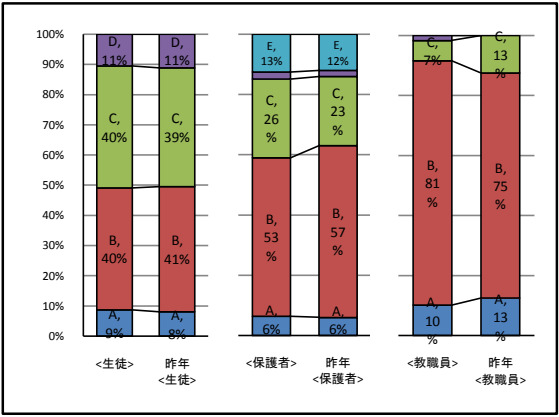
2 質問事項と集計結果

【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【重点目標 ①】

学力の伸長

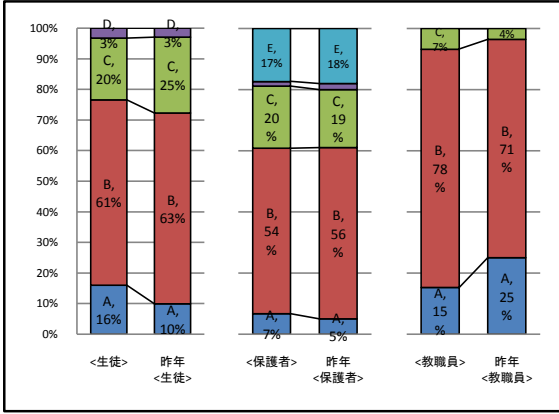
<生徒>	私は、宇北高に入学して学力が向上している。
<保護者>	宇北高の教育は入学した生徒の学力を伸ばしている。
<教職員>	本校の教員は、授業を通して、確実に学力を付けさせている。
昨年と同様に、学力の向上について「大いにそう思う」「そう思う」と回答した生徒は50%にとどまり、教職員の意識とは大きな差がある。また、28%の保護者が学力を伸ばしていないと回答している。伸ばすことができなかった50%の生徒への対応は、本校にとって大きな課題である。	



【重点目標 ②】

進路の実現

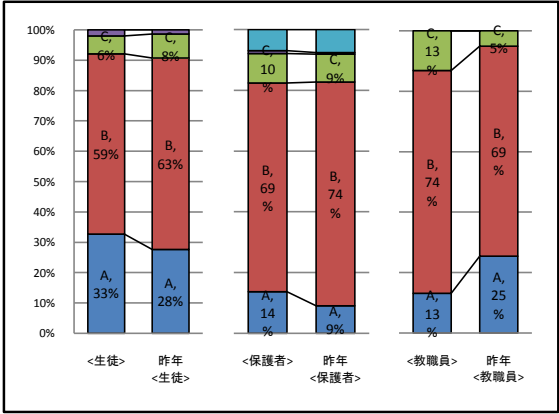
<生徒>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
<教職員>	本校の教員は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
生徒の肯定的な回答が、昨年より4%増加して77%になったが、否定的な回答は生徒・保護者ともにまだ20%を超えている。進路の実績を伸ばしていくためにも、学校全体のさらなる努力が必要である。	



【重点目標 ③】

ルール・マナーの遵守

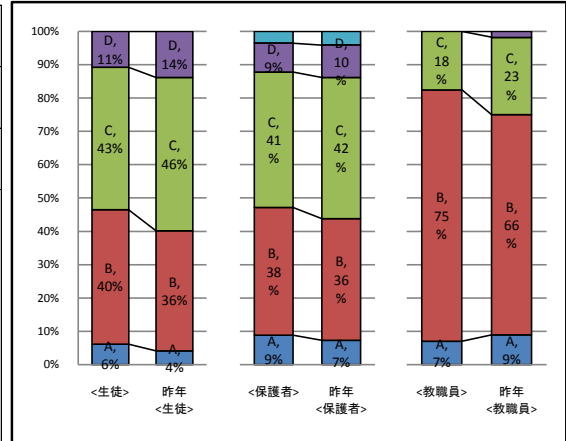
<生徒>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナー(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)を守るよう指導に努めている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナー(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)を守るよう指導に努めている。
<教職員>	本校の教員は、生徒に対してルールやマナー(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)を守るよう指導に努めている。
生徒、保護者ともに80%以上が「大いにそう思う」「そう思う」と回答し、さらに「大いにそう思う」も増加している。本校職員の取り組みが評価されていることがわかる。特に、生徒の肯定的回答は92%に達しており、今後も継続した指導が望まれる。	



【学習指導 ①】

予習復習の徹底

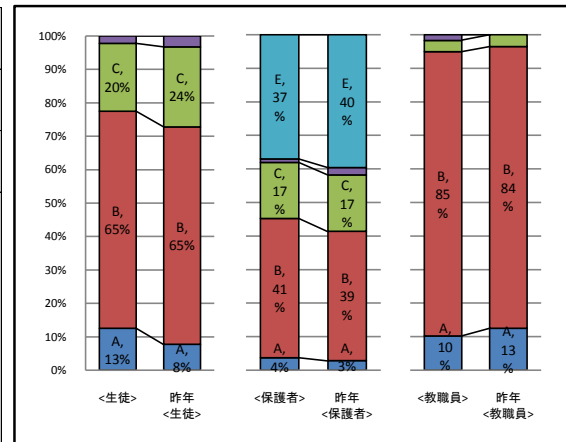
＜生徒＞	私は、毎日予習・復習をして授業に臨んでいる。
＜保護者＞	私の子供は、毎日予習・復習をして授業に臨んでいる。
＜教職員＞	本校の教員は、毎日の予習・復習など家庭学習の習慣を身に付けさせている。
昨年よりも、生徒と保護者の肯定的な回答は増加しているが、50%未満であり、過半数の生徒は予習・復習をせずに授業に臨んでいることになる。学年別に生徒の肯定的回答を見ると、1年生が16ポイント増加して48%、2年生が2ポイント増加して30%、3年生は4ポイント減少して59%であった。	



【学習指導 ②】

わかりやすい授業

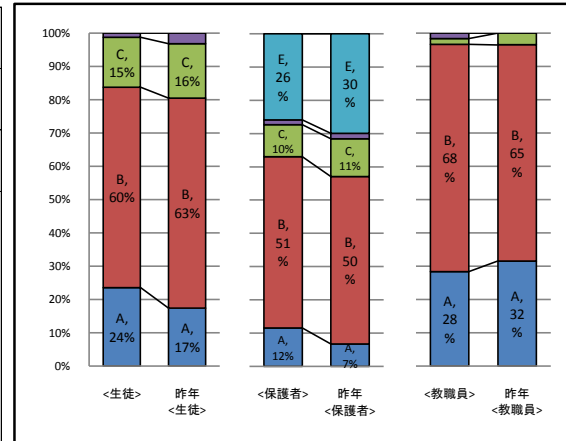
＜生徒＞	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
＜保護者＞	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
＜教職員＞	本校の教員はわかりやすい授業を行っている。
生徒の肯定的な回答が増加して約8割になったが、2割の否定的な回答を見逃してはならない。教職員の回答も「大いにそう思う」は若干減少しており、わかる授業の展開に向けたさらなる努力が必要である。	



【生活指導 ①】

生徒からの相談

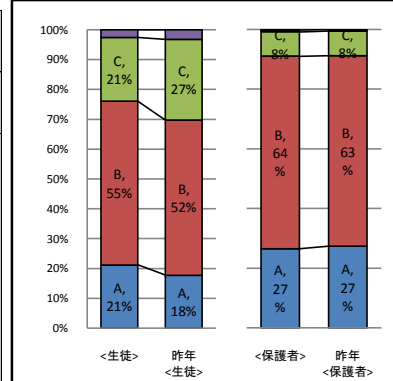
＜生徒＞	宇北高の先生は生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
＜保護者＞	宇北高の先生は、生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
＜教職員＞	本校の教員は生徒からの相談に誠実に対応している。
昨年に比べて、生徒と保護者の肯定的な回答の割合が増加した。今後も生徒一人一人を大切にした誠実な対応を続けていかなければならない。	



【生活指導 ②】

規則の遵守

＜生徒＞	宇北高生は、服装、頭髪など学校の規則を守っている。
＜保護者＞	私は、子供の服装、頭髪、交友関係や遅刻等に常に関心を払っている。
生徒の肯定的な回答の割合が増加した。保護者の規則の遵守に対する意識の高さが表れており、ありがたいことである。このことは重点目標③の結果とも一致している。	

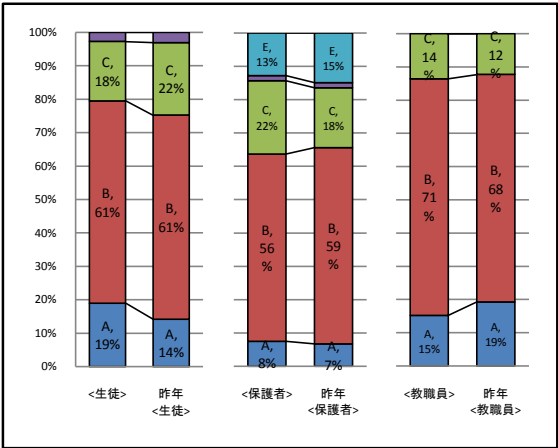


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【進路指導】

進路情報

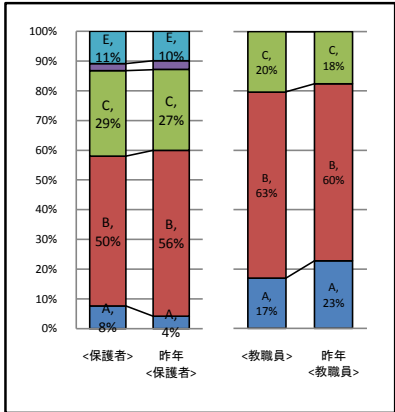
<生徒>	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
<保護者>	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
<教職員>	本校が提供する進路情報は、役に立っている。
生徒の肯定的な回答は増加したが、保護者の方は「あまり思わない」が若干増加した。面談の時だけでなく、様々な機会を捉えて、生徒や保護者のいろいろなニーズに応じた適確な進路情報の提供に努める必要がある。	



【情報発信】

教育方針や情報の伝達

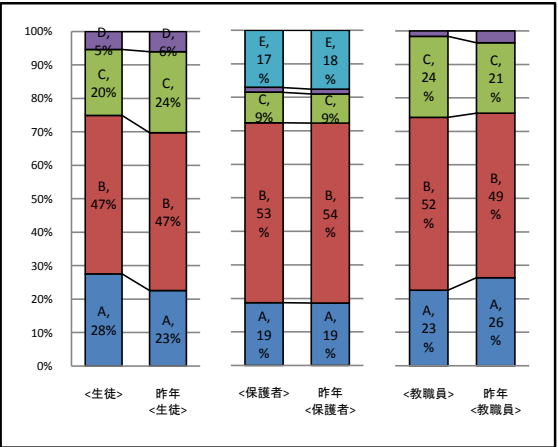
<保護者>	宇北高は、教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
<教職員>	本校は教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
保護者、教職員ともに肯定的な回答が減少した。昨年と比較して、各担当によるホームページの更新が遅かったようである。印刷物による情報の発信・伝達に加えて、ホームページの利用などの有効な方法をさらに検討する必要がある。	



【国際理解教育】

内容の充実

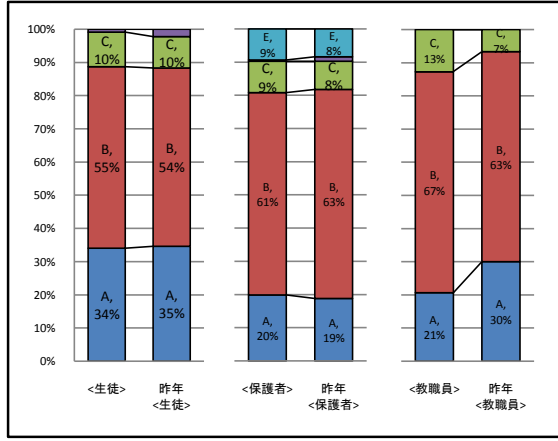
<生徒>	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
<保護者>	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
<教職員>	本校の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
昨年は、生徒・保護者・教職員そろって肯定的な回答が減少したが、今年は生徒の肯定的な回答が増加して75%になった。昨年は震災の影響で長期留学生在が不在になったが、今年は8月から1名を受け入れていることも一つの要因と考えられる。	



【部活動】

活発さ

<生徒>	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
<保護者>	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
<教職員>	本校は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
生徒と保護者は、昨年とほとんど変化がなかった。教職員の肯定的な回答が減少したのは、新教育課程の先行実施に伴って授業時数が増加し、その分だけ部活動の時間が減少したことが原因の一つと考えられる。	

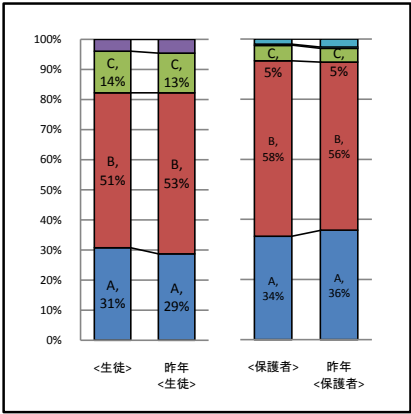


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【教育活動全般 ①】

宇北高生としての誇り

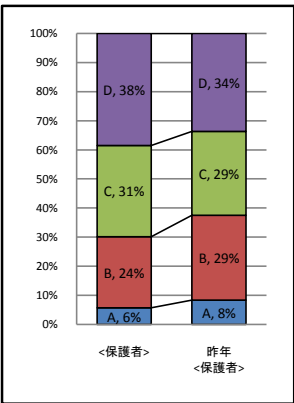
<生徒>	私は、宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
<保護者>	私は、子供が宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
昨年と同様に92%の保護者が、子供が宇北高の生徒であることに誇りを持っている。生徒も昨年と同様に82%である。	



【教育活動全般 ②】

ホームページ

<保護者>	宇北高のホームページを見ている。
ホームページを見ている割合は昨年増加したが、今年は減少した。各担当者による内容の充実と頻繁な更新が必要である。	

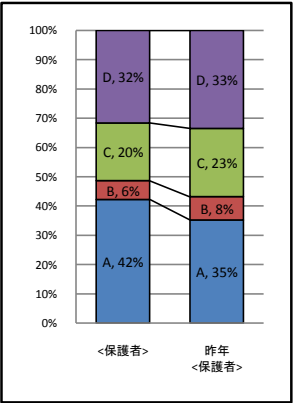


D,見ていない
C,1～2回見たことがある
B,時々見る
A,積極的に見ている

【教育活動全般 ③】

PTA総会・学年部会への参加

<保護者>	私はPTA総会や学年部会に参加した。(授業参観のみを含む)
昨年と比べて両方に参加した割合が増加した。今後も総会や学年部会に、より多くの保護者に参加してもらえよう、実施方法や内容の検討を継続していく必要がある。	



D,どちらも不参加
C,学年部会のみ参加した
B,PTA総会のみ参加した
A,両方参加した

3 改善に向けた今後の取り組み

本アンケートの結果を踏まえて各部・各学年の自己評価を行う。また、学校評議員等の学校関係者からの評価もいただき、本年度重点目標の達成状況や達成に向けた取り組みの状況を把握整理した上で、来年度に向けた改善方策の検討を行い、来年度の重点目標を設定する。